

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分	原料料名	原産国	含有区分	文	価	使用	感染症(P)	出典	概要
												炭疽	ProMED-mail20080603.1775	2008年6月2日、インドOrissaでヒト2名と何十頭ものウシが炭疽により死亡し、20名以上のヒトが感染したと当局が発表した。2008年5月1日、Kandhasahiでウシ、ヤギなど動物6頭が炭疽により死亡し、その肉を摂食した村人16名が炭疽に感染し、うち1名が死亡した。2008年5月26日、Mantriputで12頭以上のウシが炭疽により死亡し、5名が炭疽に感染し、うち1名が死亡した。
												炭疽	ProMED-mail20080608.1826	2008年6月4日、インドOrissaのSundargarh地区Kurtaの地域保健センターで炭疽症状の治療を受けていた35歳男性が死亡した。治療中の患者11名中4名が容態悪化のため病院へ搬送された。これらの患者は5月25日の地域の祭りで牛肉を食べた後、発症した。
365	2008/08/20	80365	アステラス製薬	パミテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMED-mail20071227.4149	80364に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20080102.0014	80364に同じ
												炭疽	ProMED-mail20080204.0457	80364に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20080303.0878	80364に同じ
												ニバウイルス	ProMED-mail20080406.1263	80364に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20080410.1311	80364に同じ
												炭疽	ProMED-mail20080415.1360	80364に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	製品名	生物由来 成分	原料由来	製造国	有効成分	有	無	血 中	検査項目	出典	概要
												炭疽	ProMED- mail20080603.1775	80364に同じ
												炭疽	ProMED- mail20080608.1826	80364に同じ
366	2008/08/21	80366	旭化成 ファーマ	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	トロンボモ デュリンアル ファ(遺伝子 組換え)	ヒト成人肺組 織及びヒトさ い帯内皮細胞 由来 cDNA を組み込んだ チャイニーズ ハムスター 卵巣細胞	米国	有効成分	無	無	無			
367	2008/08/21	80367	旭化成 ファーマ	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	ウシ血清	ウシ血液	ニュージー ランド	製造工程	無	無	無			
368	2008/08/21	80368	旭化成 ファーマ	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	抗トロンボモ デュリンアル ファマウスモ ノクローナル 抗体	マウスハイブ リドーマ細胞 をマウス腹腔 内に接種して 得られた腹水	米国	製造工程	無	無	無			
369	2008/08/21	80369	エール薬 品	ダルテパリンナトリウム	血液凝固阻 止剤	豚小腸	中華人民共 和国	有効成分	有	無	無	ブドウ球菌感 染	HPA/Health Protection Report 2(25) 2008年6月20 日	最近、英国HPSは2007年にヒトにおいて発生したいわゆるコミュニティMRSAのブタ株であるST398株感染症例3例を報告した。これらは英国における初めての症例であるが、全員治療に成功した。ここ数年、ヨーロッパ大陸の家畜のブタにおいて無症候性のST398株の定着の増加が認識されている。ブタ関連MRSA(ST398)のヒト症例を更に同定するため、HPAは臨床検査による監視の継続の必要性を改めて表明する。
												ブドウ球菌感 染	HPS Weekly Report 2008; 42(23): 203	MRSA分離株であるST398株は、ヒトに伝播し、感染を引き起こす可能性のあるブタ関連株であることが示唆されている。英国では今まで動物またはヒトからのST398株分離の報告はなかった。2007年にScottish MRSA Reference Laboratoryはヒトから分離され、MLSTによって同定された3例のST398株を受け取った。これらの分離株は最も普遍的なST398株と同一ではなかった。疫学的調査の結果、3例は同時期に入院しておらず、ブタや養豚業者との関連はなかったことが確認された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分	原料地名	原産国	含有成分	有	無	無	感染症ID	出典	概要
370	2008/08/22	80370	日本ケミカルリサーチ	注射用ミリモスチム	ミリモスチム	ヒト尿	中国、台湾	有効成分	有	無	無	手足口病	WHO/EPR 2008年5月1日	中国におけるエンテロウイルス: 2008年4月29日現在、中国で乳幼児におけるエンテロウイルス(EV-71)による手足口病が死亡20例を含む1884症例報告されている。死亡20例はAnhui省Fuyang市である。死亡例は全てEV-71感染による神経原性肺水腫のような重症の合併症により死亡した。全症例の死亡率は3月10-31日は11%であったが、4月17-29日には0.2%に減少した。
371	2008/08/22	80371	日本ケミカルリサーチ	注射用ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物	有	無	無	サルモネラ	HPA/Health Protection Report 2(11) 2008年3月14日	2008年2月22日以降、HPAの腸管病原菌研究所(LEP)が受け取る、まだ命名されていない同じファージ型パターンを示すネズミチフス菌の分離株数が増加している。パターンは現在認識されているネズミチフス菌のファージ型とは異なり、PT U320と命名された。LEPはイングランドとウェールズ在住者においてネズミチフス菌PT U320感染のヒト症例51例を確定した。分離株は全て抗生物質に対し十分に感受性があった。患者は10ヶ月から92歳で、31例中30例は2月17日から25日に発症した。
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000047	出血熱症例の小さな流行が、2003年12月と2004年1月にボリビアのCochabamba付近で発生した。1死亡例から検体を入手し、患者血清検体から非細胞障害性ウイルスを単離し、アレナウイルスと同定した。RT-PCR分析、並びにS及びL RNAセグメント配列の解析の結果、このウイルスはサビアウイルスに最も近縁であるが、新規のウイルスであることが示された。我々はこのウイルスをChapareウイルスと命名することを提案する。
												クラミジア感染	Sex Transm Dis 2008; 35: 377-382	ウィーンで2005年11月から2006年11月に鼠径リンパ肉芽腫を有し、Chlamydia trachomatis DNA陽性の男性同性愛の患者24名から得られた検体について遺伝子的な解析を行った。24検体中15例のC. trachomatisがbiovar L2、7例がbiovar D、FまたはGであった。8検体においてompAの可変領域にL2bの変異型が認められた。また4検体においてL2配列の3箇所に変異が見られ、新規株として各々L2c、L2d、L2eと命名された。
372	2008/08/22	80372	第一三共	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	フィブリノリジン	牛の血漿	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
373	2008/08/22	80373	第一三共	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	デオキシリボヌクレアーゼ	牛の膵臓	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	製薬会社名	一般名	全成分	原料	製造国	有効成分	有	無	無	副作用	参考文献	備考
374	2008/08/25	80374	日本製薬	①加熱人血漿たん白 ②人血清アルブミン(5%) ③人血清アルブミン(20%) ④人血清アルブミン(25%) ⑤乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン ⑥トロンビン ⑦乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ ⑧人免疫グロブリン ⑨乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体	ヘパリン	ブタ腸粘膜	ブラジル	①～⑧製造工程、 ⑨添加物・製造工程	無	無	無			
375	2008/08/26	80375	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	人尿	中国	有効成分	有	無	無	リンパ性脈絡髄膜炎	N Engl J Med 2008; 358: 991-998	オーストラリアで一人のドナーから臓器移植を受けた3例が移植後4-6週後に死亡した。他のいかなる方法でも原因不明であったが、2例のレシピエントの移植肝および腎から得られたRNAを偏りのない迅速シーケンシングで解析することにより、リンパ性脈絡髄膜炎に関係する新規のアレナウイルスが原因であることが明らかとなった。レシピエントの腎、肝、血液および脳脊髄液からこのウイルスが検出され、また免疫組織学的および血清学的に確認された。この方法は病原体発見の強力な手段である。
												B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 286-294	最小感染量を求めるために、遺伝子型Aまたは遺伝子型CのHBVを含む急性期前の接種株をチンパンジーに接種したところ、最小50%チンパンジー感染量(OID50)は各々約10コピーと推定された。最低感染量を接種したチンパンジーにおけるHBV DNA ウィンドウ期は遺伝子型Aでは55-76日、遺伝子型Cでは35-50日、HBs Agウィンドウ期は遺伝子型Aでは69-97日、遺伝子型Cでは50-64日であった。またHBV DNAダブリングタイムは遺伝子型Cの方が遺伝子型Aに比べ有意に短かった。
												E型肝炎	N Engl J Med 2008; 358: 811-817	2004年1月1日～2006年12月31日に腎移植(241名)または肝移植(86名)を受けた患者の移植時の抗HEV IgG保有率は、各々14.5%または10.4%であった。この内、肝移植を受けた3名、腎移植を受けた9名、腎臓と脾臓の移植を受けた2名の計14名で急性HEV感染を同定したが、全員血清HEV RNA陽性であり、内8名が慢性肝炎となった。移植から診断までの時間は短く、慢性肝炎に進展した患者ではリンパ球数並びにCD2、CD3およびCD4 T細胞数が有意に低かった。
												ヒトポリオーマウイルス感染	Science 2008; 319: 1096-1100	メルケル細胞癌(MCC)検体をdigital transcriptome subtraction法を用いて検査し、新種のポリオーマウイルスを同定し、メルケル細胞ポリオーマウイルス(MCVまたはMCPyV)と命名した。このウイルスはMCC腫瘍10検体中8例(80%)で検出されたが、対照組織検体では59例中5例(8%)、対照皮膚組織検体では25例中4例(16%)でしか検出されなかった。MCVがMCCの病原因子である可能性が示唆された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生体由来成分名	献体州名	献体国	性別	年齢	死因	感染	出典	概要
											感染	56th Annual Meeting of the American-Society-of-Tropical-Medicine-and-Hygiene 1044	ヒト顆粒球アナプラズマ症(HGA)の発生率は、1999年以来2倍となった。原因病原体のAnaplasma phagocytophilumによる血液の安全リスクを調査するため、間接免疫蛍光法を用いてコネチカット州及びマサチューセッツ州の血液ドナーのA. phagocytophilumに対するヒトIgG抗体を測定した。その結果、2001年から2006年に採取された15,828ドナー血清中432例(2.7%)が抗体陽性であった。比較的高い陽性率が持続していることから、A. phagocytophilumの血液安全性に及ぼす影響を調べる必要がある。
											異型クローンフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: 609-619	ヒツジのリコンビナントPrP (rPrP) のヒツジにおける血液クリアランスならびにスクレイピー関連フィブリル(SAF)静注後のPrPresへの曝露について調べた。rPrPのARR変異型は、VRQ変異型よりもより早く除去された。また、PrPcのARR変異型のクリアランスがVRQ変異型のクリアランスよりも大きいことが示唆された。rPrPの血漿クリアランスは、両腎臓摘出後は52%減少し、rPrP除去に腎臓が重要であることが示された。PrPresはSAF静注後は緩やかに除去された。
											ウイルス感染	Emerg Infect Dis 2008; 14: 834-836	カナダにおいて、Saffoldウイルスに関連するカルジオウイルス分離株が呼吸器症状を有する3名の子供からの鼻咽頭吸引物から検出された。Can112051-06分離株のポリプロテイン配列は、Saffoldウイルスと91.2%のアミノ酸同一性を有した。しかし、ウイルス表面のEF及びCDのループは、かなり異なっていた。
											ウイルス感染	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000047	出血熱症例の小さな流行が、2003年12月と2004年1月にボリビアのCochabamba付近で発生した。1死亡例から検体を入手し、患者血清検体から非細胞障害性ウイルスを単離し、アレナウイルスと同定した。RT-PCR分析、並びにS及びL RNAセグメント配列の解析の結果、このウイルスはサビアウイルスに最も近縁であるが、新規のウイルスであることが示された。我々はこのウイルスをChapareウイルスと命名することを提案する。
											ウイルス感染	WHO Representative Office in China 2008年5月19日	2008年3月下旬、中国安徽省Fuyang市で未就学児3名が重症の肺炎と急激な悪化により死亡し、4月中旬までに15名の小児が同様の疾患で死亡した。調査の結果、エンテロウイルス71による手足口病と確定された。同市では、3月1日から5月9日の間に、6,049例報告され、353例が重篤で、22例が死亡した(致死率0.4%)。患者数は、4月の初めに増加し始めて、4月28日にピークに達し、5月5日以後減少した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分	原料抽出	製造国	含有成分	文書	証明	適正使用	臨床試験	出典	概要
376	2008/08/27	80376	シェリン グ・ブラウ	インターフェロンアルファ-2b(遺伝子 組換え)	人血清アル ブミン	人血液	米国	添加物	有	無	無	デング熱	ProMED- mail20080120.0255	カンボジアでは2007年にデング熱により407名が死亡し、最近10年間で最高の死亡者数となったと保健省は2008年1月4日に発表した。死亡例の大部分は小児であった。デング熱は同国における慢性的な問題であるが、2007年は雨季の到来が例年より早かったことも原因であるとしている。2007年は40000例以上の患者がデング熱で入院した。
												ウイルス感染	Liver Transpl 2007; 13: 1703-1709	サイトメガロウイルス(CMV)ドナー陽性/レシピエント陰性(D+/R-)肝移植における抗ウイルス薬(ガンシクロビルまたはバルガンシクロビル)予防投与の効果調べた。予防投与中にはCMV病は発症しなかったが、予防投与中止1、3、6、12および24ヶ月後に各々2%、25%、27%、27%および29%の患者で初発CMV病が観察された。女性および若年患者で遅発性初発CMV病のリスクが増加し、糖尿病患者ではリスクが有意に低下した。
												ウイルス感染	共同通信 2008年2 月7日	オーストラリアで臓器移植を受けた後に相次いで死亡した3人の患者から、未知のウイルスを新しい手法で発見したと、米コロンビア大などのチームが6日、米医学誌に発表した。チームは生物のゲノムを解読するための高性能配列解読機を駆使し、患者の遺伝子から未知の配列の遺伝子断片をふるい分け、これまで知られていないアレナウイルスの一種を発見した。
												リンパ性脈絡髄 膜炎	N Engl J Med 2008; 358: 991-998	オーストラリアで一人のドナーから臓器移植を受けた3例が移植後4-6週後に死亡した。他のいかなる方法でも原因不明であったが、2例のレシピエントの移植肝および腎から得られたRNAを迅速シーケンシングで解析することにより、リンパ性脈絡髄膜炎に関係する新規のアレナウイルスが原因であることが明らかとなった。レシピエントの腎、肝、血液および脳脊髄液からこのウイルスが検出され、また免疫組織学的および血清学的に確認された。この方法は病原体発見の強力な手段である。
												デング熱	ProMED- mail20080211.0549	ブラジルにおいて2007年のデング熱による死亡症例数は158例で、2006年の78例の2倍以上であった。2008年1月になり減少している。2008年2月4日に発行された保健省の冊子によると、2007年に全国で559954例のデング症例が登録され、このうち1541例がデング熱であった。Parana州南部地域では2007年12月のデング熱届出症例数は8356例となり、2006年同時期と比較して827%増加した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来品 種別	原料品名	原産国	自治区分	文書 種別	症例 種別	症名(ラ)	出典	概要
											デング熱	ProMED-mail20080309.0962	トンガVaiola病院からの報告によると、2008年3月2日までにデング熱により2名が死亡した。23歳の警察官1名と、幼児1名が、デング熱の重症合併症により死亡した。2007年6月から12月にかけて、デング感染流行が発生し、当時死亡した患者は1名であった。このほか、50-60名の患者が治療を受けた。しかし、2008年、デング熱感染患者は3倍に増加し、200名以上が治療を受けている。
											デング熱	ProMED-mail20080321.1080	メキシコでは最近4年間で古典的デング熱およびデング出血熱症例が2003年の6400例から2007年の48000例となり、750%増加した。感染の80%は南東部、主にVeracruzおよびChiapasに集中している。2007年には国内の28州において10例の死亡を含むアウトブレイクが記録された。
											チクングニヤウイルス感染	PLoS Med 2008; 5:e60	2005年3月-2006年12月にレユニオン島では7504名の女性が7629例の新生児を出産したが、妊産婦中678名(9.0%)が分娩前に、61名(0.8%)が分娩前または分娩中にチクングニヤウイルスに感染していた。早期の胎児死亡3例を除き、垂直感染はほぼ満期出産の分娩時ウイルス血症で観察され、分娩時ウイルス血症産婦39名からの垂直感染は19例(48.7%)であった。帝王切開では感染を防げなかった。感染した新生児は出生後3-7日目に発病し、10例(52.6%)で重症となり、うち9例(90%)が脳症であった
											結核	CDC/MMWR 2008; 57(13): 333-336	米国オクラホマ州保健局は2007年に46歳のホームレス男性臓器ドナーの死亡から3週後に結核菌を検出した。このドナーの肝臓または腎臓はテキサス州の住民であるレシピエント3名に移植され、そのうち2名が播種性結核を発症し、1名は死亡した。ドナーおよびレシピエントの結核分離株の遺伝子型は同一で、臓器移植により伝播したと考えられた。移植伝搬性結核が疑われた場合には医療関係者は関連するOPO、組織バンクおよび保健当局に連絡するべきである。
											HIV	Public Health Agency of Canada/CCDR Weekly 2008年3月28日	Manitoba Healthの報告によるとカナダManitobaの女性および先住民族の間でHIV感染率が劇的に増加している。過去10年間で新たにHIVと診断された女性は、以前に比較し4倍となった。ここ7年間の新たな感染症例の3分の1がアボリジニであった。マニトバでは1985年から2007年末までに1477名がHIV陽性で、感染者の80%以上がWinnipegの住民であった。